

# NISA口座 活用を



② 長い時間で差が出る「お金の置き場所」

富山県金融広報委員会  
金融広報アドバイザー  
横山 純子

政府は「異次元の少子化対策」など、若い世代を応援する政策を次々と打ち出そうとしています。そうは言ってもお金が急に必要になったり、人生のイベントで一時的に大きなお金が必要になったりすることがあります。そんな時に備えて収入の一部をためておくことは、生活を安定させ、家族と共に幸せに生きるために大切なことです。

**Q** お金をためるために、やるべき順序がある？

**A** 人生100年、充実して豊かに生活したいですね。20代30代のうちにどうお金と向き合うかで、その後の人生に大きく差が出ます。そこで、若い世代のお金への向き合い方に順序をつけてみます。

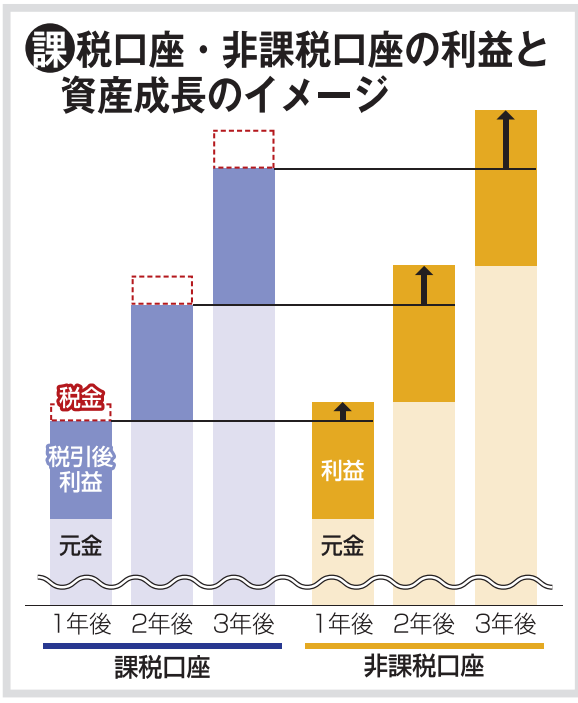
第1段階は、何よりもまずしっかり働き、収入を得ることです。第2段階は、毎月の収入から先取り貯金をし、支出を管理します。支出は収入の範囲内にするのが大事です。

第3段階として緊急時に対応できるお金（最低でも生活費の3カ月分）がたまったなら、住宅や教育といった必要資金の準備を始めましょう。

第4段階は、リタイア後に備えて、余裕資金でリスクのある金融資産に投資します。資産形成はリタイアの時までずっと続けましょう。

**Q** 金融機関はどう選ぶ？

**A** 第1〜3段階では銀行が考えられます。給料が振り込まれたら別口座に先取り貯金ができる設定をして、お金を積み立てましょう。給料はまず貯金をして、残りで生活すること。これがお金をためる一番の方法です。



そして家計簿アプリなどを利用して自分が何にお金を使っているのかを確認しましょう。生活になくてはならない支出なのか？ 自分の学びや癒やしとして本当に必要な支出なのか？ 今の給料は、リタイア後の自分を支える分も含まれていると考えて支出を管理しましょう。

第4段階になったら、銀行のほかに証券会社などで、許容できる範囲のリスクをとった資産形成にも挑戦してみましょう！  
リスクのある金融資産は増えることもあれば、減ることもありま

**Q** 非課税口座の投資とは？

**A** 政府の所得倍増計画の下、2024年から少額投資非課税制度（NISA）が拡充されます。投資信託を運用する「つみたて投資枠」の年間投資枠は120万円、生涯の非課税保有限度額は1800万円、非課税期間は無期限となります。

つみたて投資枠で利用できる投資信託は、金融庁が認めている対象商品から選びます。図のように、通常の課税口座であれば、利益が出た場合20・315%が税金として引かれますが、NISA口座であればそのまま手元に残ります。非課税分の利益を再び投資に回せば、長い年月でその差はとて大きくなっていくでしょう。せっかく国が非課税にしてくれる制度を利用しない手はありません。リタイア後の自分を支えるお金の成長は、NISA口座を活用していきましょう。（ファイナンシャルプランナー）